



こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2021年
9月

2021年9月30日

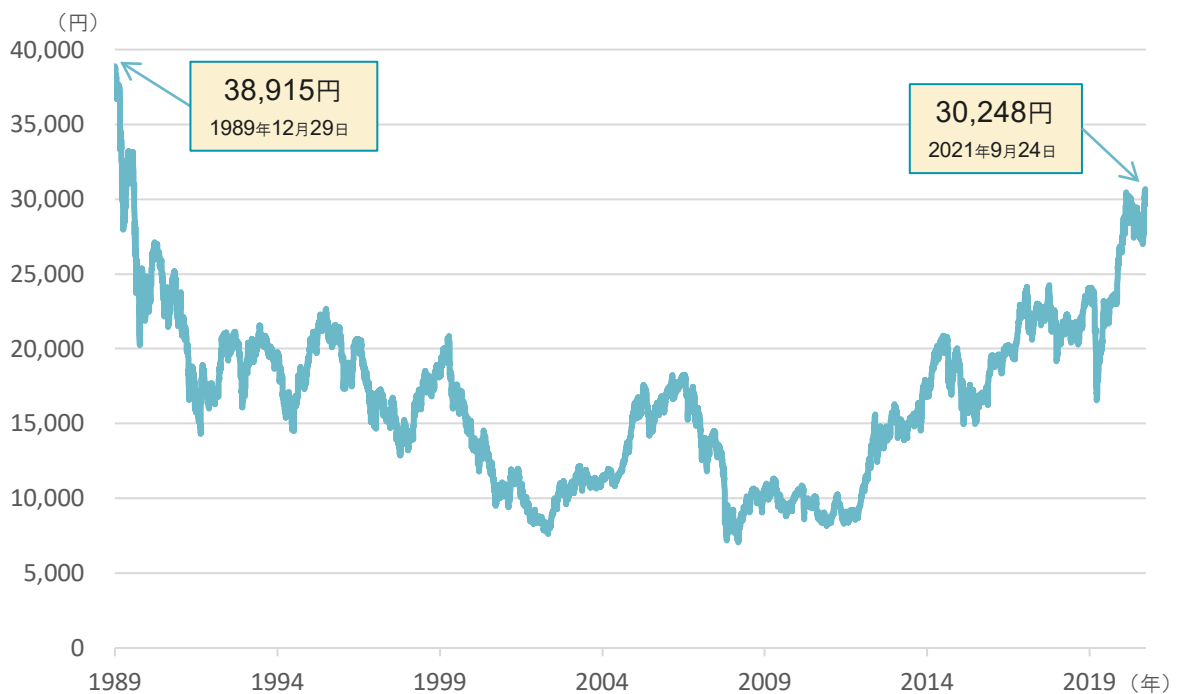
Vol
152

日経平均株価の31年ぶりの高値更新を機に、あらためて整理しておきたい2つの投資手法

日経平均株価が31年ぶりに3万円の台に乗せるなど、足もとで日本の株式市場が活況となっています。政策期待や新型コロナウイルスの新規感染者の減少を受け、相対的に出遅れていた日本株に見直し買いが入ったと見る向きもあるようです。遡ってみると日経平均株価の過去最高値は1989年12月29日の38,915円。対して2021年9月24日の終値は30,248円ですから、依然乖離があるのも事実です。「運悪く最高値の日に投資をスタートしていたらまだマイナス。いつ買うかという投資タイミングが大事だ」と結論付ける方も少なくないのではないのでしょうか。

今回は、あらためて投資手法について整理してみたいと思います。

■(図-1)日経平均株価の推移(1989年12月29日～2021年9月24日、日次)



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※データは過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

こよみ



コールセンターからの、小さなよみもの



2021年
9月

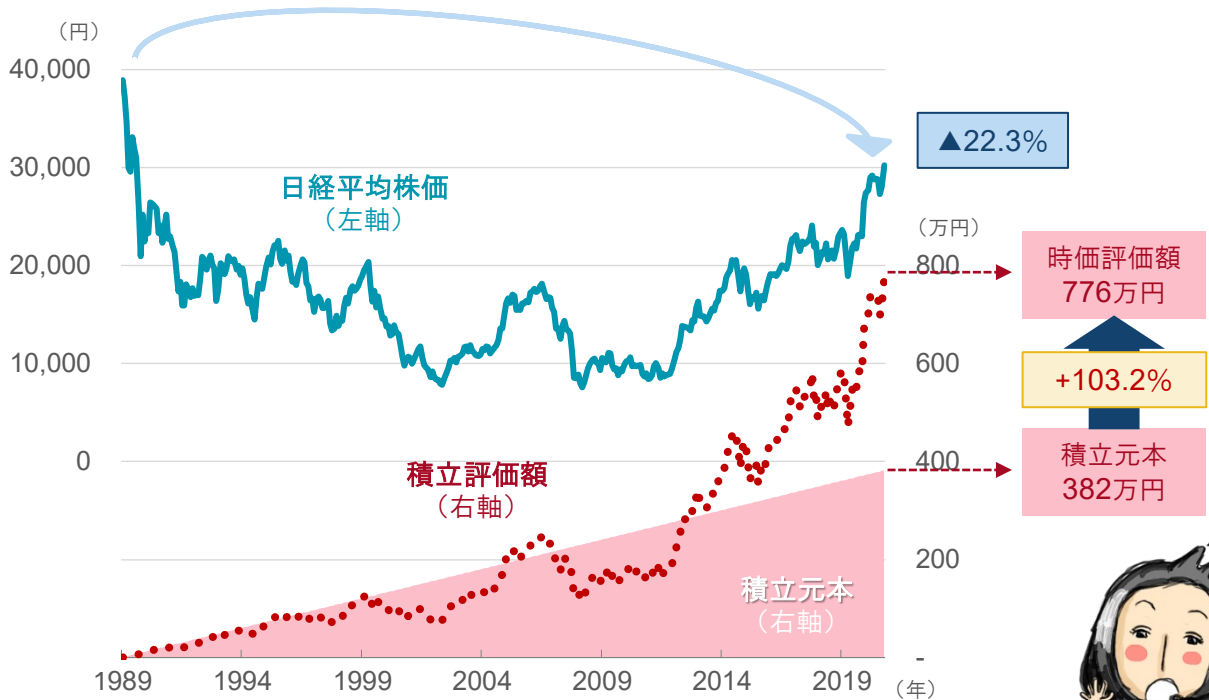
一括投資と積立投資

投資信託の投資手法として、「一括投資」と「積立投資」の2つがあります。

一括投資は、文字通り用意した資金を一度にまとめて投資する手法です。上昇のタイミングを的確に捉えることができれば、最も効率の高い投資手法ですが、仮に運悪く1989年12月29日に日経平均株価に連動する投信に一括投資を行なった場合、現在も評価損(▲22.3%)となっています。

対して積立投資は、一度にまとめず複数回に分けて投資をする手法です。下図(図-2)は、1989年12月から、毎月末に1万円ずつ日経平均株価に連動する投信に投資し続けた場合のシミュレーションです。積立元本382万円に対して、時価評価額は776万円と大きな評価益(+103.2%)を生み出していることに驚かされます。

■(図-2)日経平均株価の推移と積立投資のシミュレーション(1989年12月末～2021年9月*)



※期間: 1989年12月末～2021年9月* *9月は24日まで
 ※各月末の日経平均株価に定額積立(1万円ずつ)をしたと仮定したシミュレーションです。税金・手数料等は考慮していません。2021年9月分は、9月24日に定額積立を行なったと仮定しています。※資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
 ※データは過去のものであり、将来を約束するものではありません。



■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

日興AMファンドアカデミー

こよみ



コールセンターからの、小さなよみもの

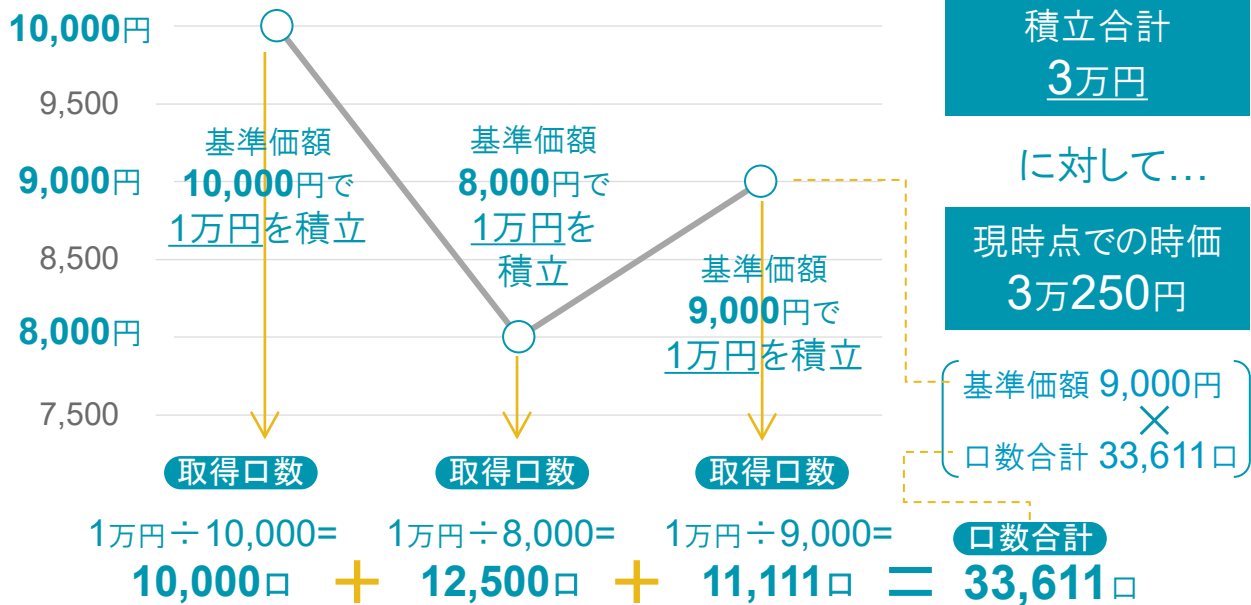


2021年
9月

「積立投資の不思議」

概念図(図-3)を見ると、基準価額(ここでは日経平均株価と同じ意味)が下がっているにもかかわらず、評価益となるリクツが確認できます。安い時に多くの口数を溜めることが、反発した時に大きな効果を発揮しており、ある意味で「下がっても嬉しい仕組み」と言えそうです。

■(図-3)積立投資の不思議



※基準価額は1万円当たりで表示する慣習があるため、取得口数を求める際には最後に10,000を掛けます。
※手数料等を考慮していません。



こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2021年
9月

投資手法そのものに優劣はありません

「一括が良いか、積立が良いか」という投資手法としての優劣を議論することに意味はありません。もし、買った後にずっと上がっていくことが分かっているのであれば、一括投資が良いに決まっているからです。

積立投資は、今まとまった資金は用意できないけれど、将来に向けてコツコツ頑張りたい人が選ぶべき投資手法だと言えます。積立投資をスタートするとき、重要なことはただひとつ。途中で必ず訪れる含み損の時期を、「下がっても嬉しい仕組みなんだ」、「上がるのは口数がしっかり溜まったずっと先で良いんだ」と踏ん張って止めないことだと言えます。



nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00